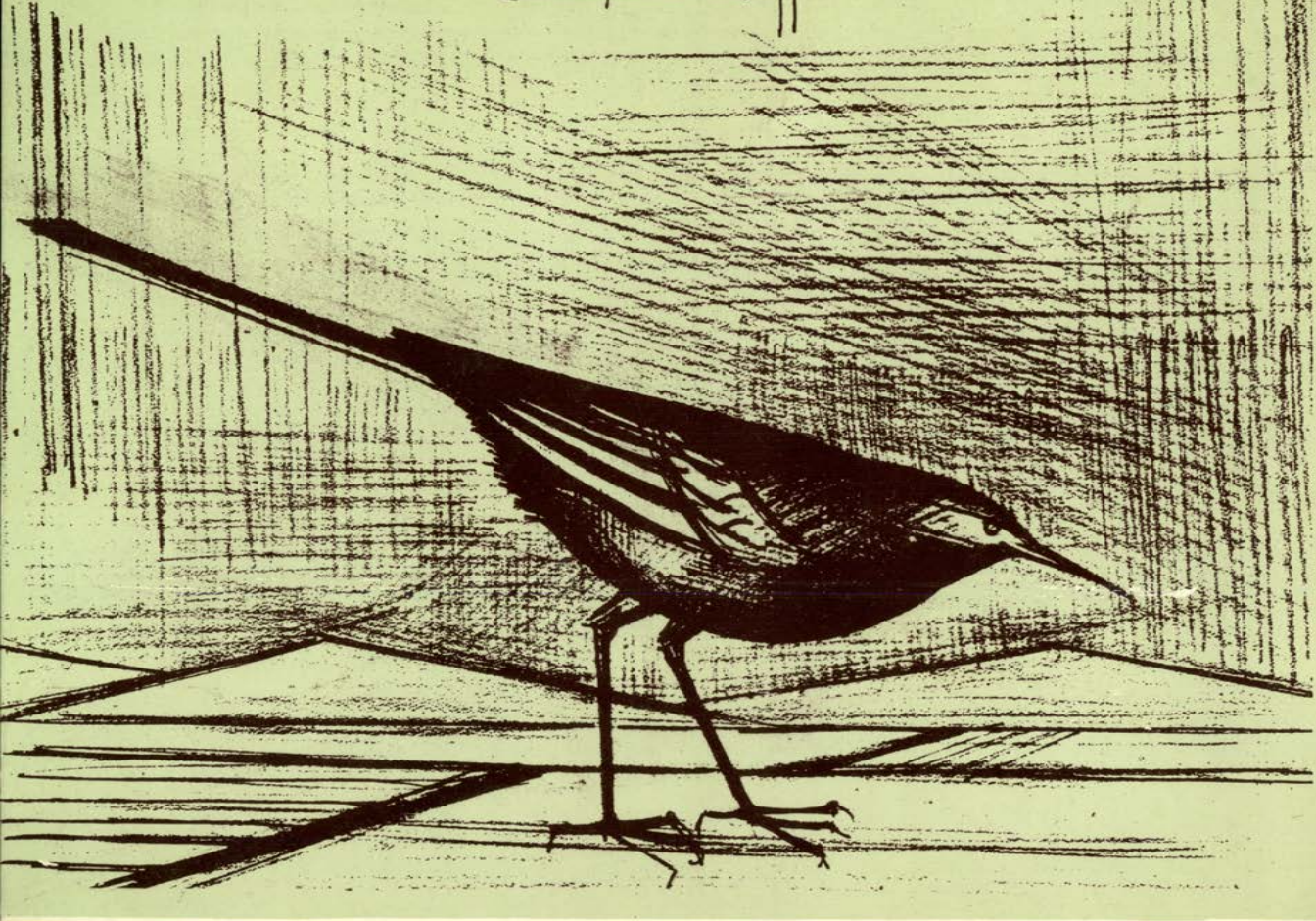


MONTHLY MAGAZINE KOBEEKO JUNE 1961 NO. 4

Forward Inset 50



郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

6月号

北欧の味と香り
ゴンチャロフ
チョコレート



Goncharoff

神戸市生田区加納町4丁目1
ゴンチャロフ製菓株式会社

美しい
店で
楽しい
お買物



どこよりも良い品を どこよりも安く どこよりも親切に



神戸店
電話③8121

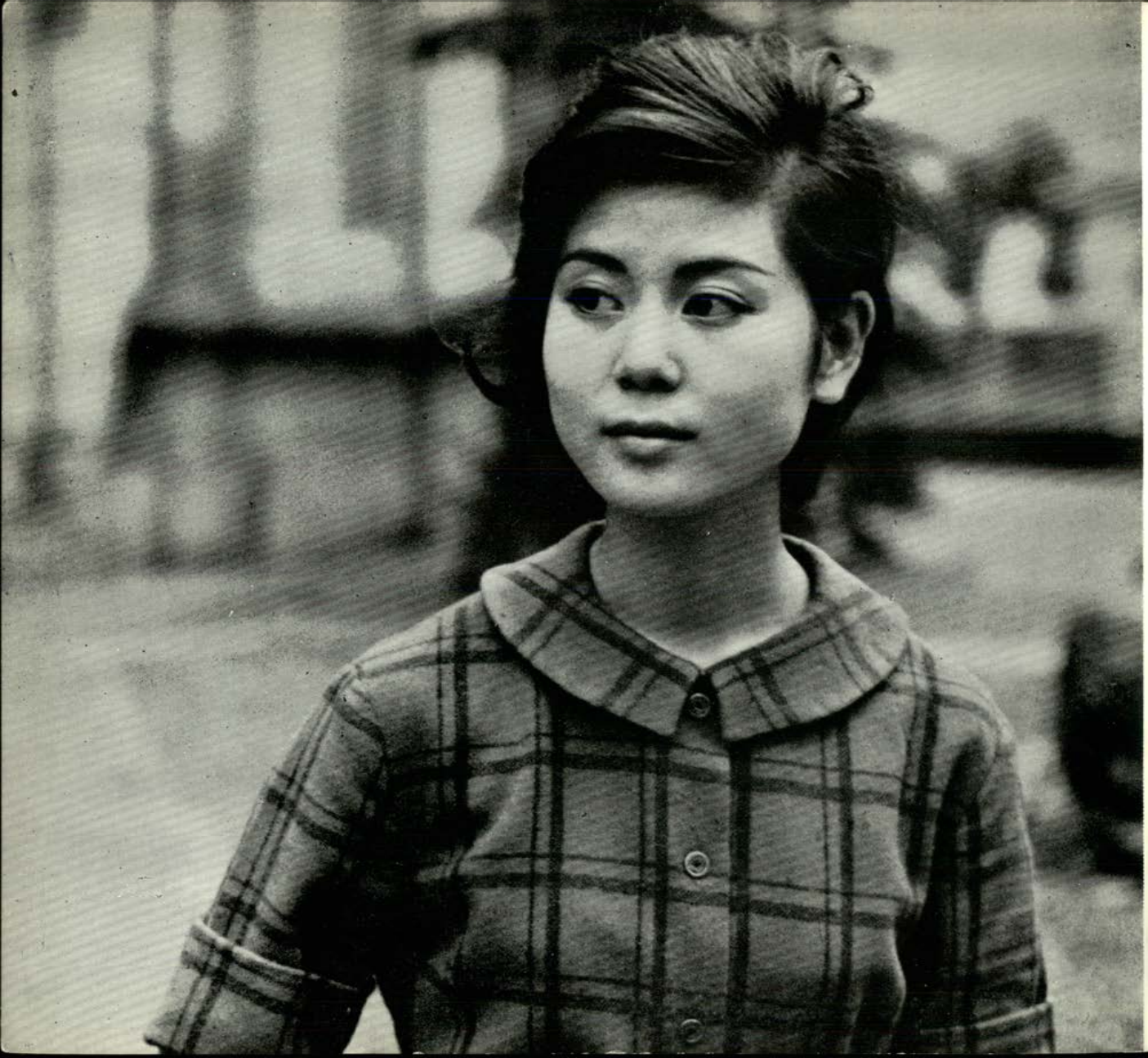
これは神戸を愛する人々の手帖です

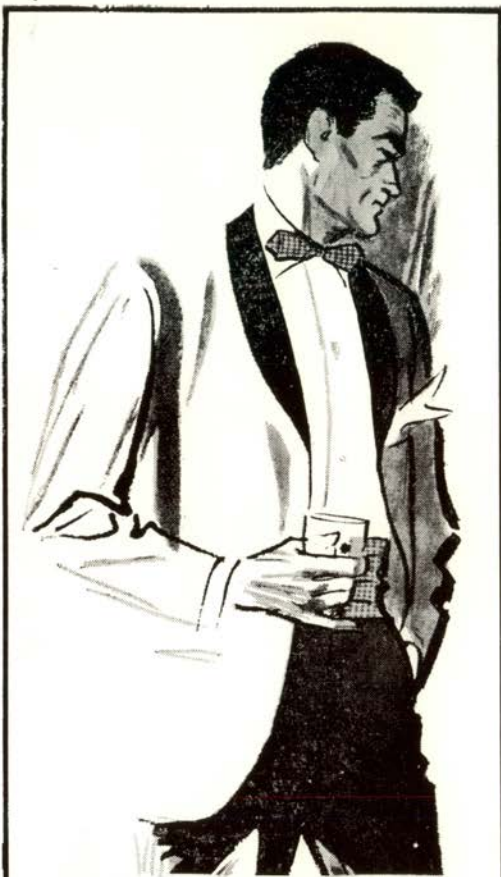
あなたのくらしに楽しい夢をおくる

神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ

これは神戸っ子の心の手帖です







④ 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④ 0693

大阪・高麗橋二丁目 ②③ 2106

Mikimoto Pearls



優雅な装いに…
ミキモトパール

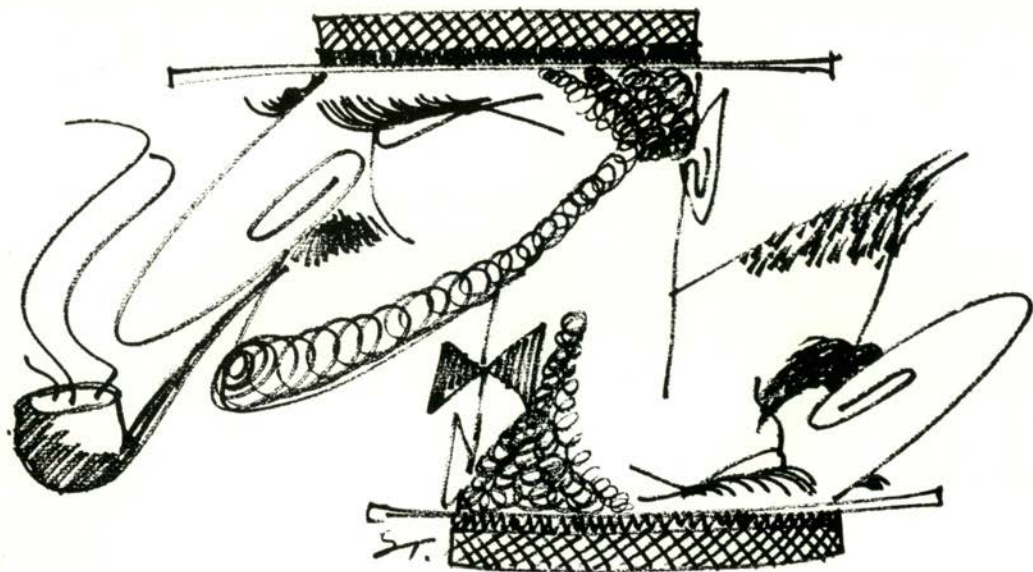


御木本真珠店

神戸店・神戸国際会館内 Tel. 2-0062

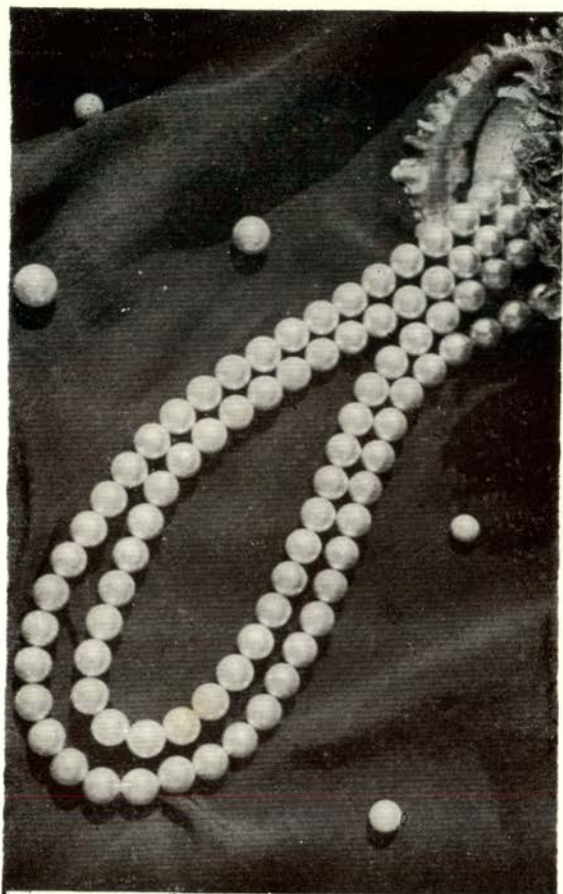
大阪店・新大阪ビルヂング内 Tel. 36-0220

本店・東京銀座四丁目 Tel. 535-4611



6 月 目 次

PHOTO / 神戸の女性・杉尾友士郎	1	22 花時計・レリーフ / 松井高男・伊藤 誠	
すねに傷あり・古林喜楽	5	25 写真特集 / 神戸の学園・松蔭女子学院をたずねて	
神戸つ子放談・坂元三一	6	29 対談 / 神戸とマルセイユ・小松清・松井高男	
レジャー緑蔭談・白川渥	8	34 KOBEKKO SHOPPING・GUIDE	
法然上人と私・佐藤春夫	11	40 特集・うまいものシリーズ ④	
雨の日のオシヤレ・福富芳美	12	44 洋酒はなしのたね ③	
随想 / 獅子と虎・速水良祐	15	45 BONSOLR・MADAME	
山紫水明・星空ひかる	16	46 1店紹介・イクシマヤ	
連載「ここに神戸がある」		47 連載小説第3回 / 波止場・細野耕三	
③ 船旗の群れる海・司馬遼太郎	18	51 THE SECOND COVER	



北村パール

北村眞珠株式会社

神戸／元町2・東京／スキヤ橋センター
TEL ③ 0072 (571) 8032

FUGETSUDO

フランス風アイスクリーム



ゴーフル

マロングラッセ



コーベピアー

フランス煎餅



創業明治三十年

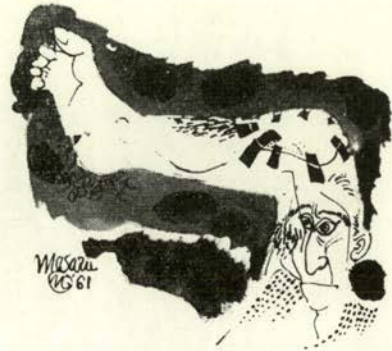


風月堂

神戸元町三丁目 TEL ③695・696

あり傷にすね

楽勝 喜 林 古
勝 西 中 え



五十年に近い馴染みの土地ともなると、愉快な思い出や懐しい追憶も多々あるけれども、また恨みも一つや二つではない。

昭和三年の秋深きころ、いまの天皇の御大典が盛大に催された。神戸もお多分にもれず、上を下へのお祭り騒ぎであった。

その夜、私は友人二人と布引の市電通りの曲りかどのところをそぞろ歩きしていた。そのとき突然うしろからパツとヘッド・ライト、あっと思うまに二間ほどとばされ、私が四つん這いにへたばっている上へ、なおも自動車がかかってきて、私の足を車輪が一・二米押しづりつけた。

「やられた」と観念したが、意識が案外たしかであるので、車が止まるとともにとび起きた。

連れの一人は車の下敷きになって仰向きにぶっ倒れてうなっている。もう一人の姿は見えない。左右をさがしているとき、大丈夫かとなりつつ、うしろからかけつけてきた。それほど私たちはとばされていたのであった。

さっそく恨みの車を叱咤して、山手通りの外科病院へ走った。暗い車中ではかとは判らないのだが、膝のあたりは何だかぬるぬるしたものが流れている。

血だ！、指をあててみると膝のあたりに大きな穴があいている。その瞬間に私はいっぺんにグニャツとなってしまった。下敷きになっていた友を車にのせたときには肩を貸したほどの元気であったのに、降りるときには足が立たないで、逆にその友に支えられて入院した。あとで聞くと私が一番重傷であったのである。

いまの布引のところは、見通しがよくきくようになっているけれども、昔は市電のカーブするところが盲点になっていた。上筒井の方から走ってきた車が、市電を追い越し、前を横切ろうとしたとたんに、加納町から市電が突然曲り角に現われてきて狭まれそうになった。フル・スピードで真ん中を横切ったまではよかったが、ブレーキをかけても、あいにく雨天のためにスリップし人道の上に乗りあげてきて、私たちをはねとばしたのであるあとで聞くと、運転手は赤穂の田舎で免許をとったばかりの翌日、御大典の神戸でひと稼ぎしようとして、地利もまだかにわからない市内を流していたらしい。

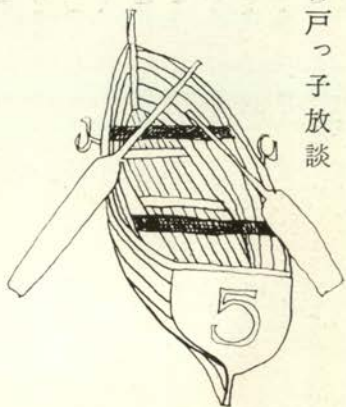
そんな車に巡りあわしたのが運のつきであったのであらうが、しかし相当の深手であったのにもかかわらず、肝心の膝の皿にはひび一つはいらなかったのが、不幸中の幸いであった。おかげでと言えばちとおかしいが、ちんばにならないですんだのみならず、その後、厳寒のときでも少しも痛まないほど完全に全治した。

そのかわり私はほんとに真正真銘文字どおりの「すねに傷もつ男」となった。

よほどひどかったとみえて、やがてムスターフアをむかえるこの年になって、ソソをまくりあげるといまだに立派にその残こんが止められている。

人間はどんなおえらがたでも、何かすねに傷をもってはいつであらうと思うけれども、私のように本まものをもっている者はめったにあるまい。私はれっきとした傷をすねにもった男ではあるけれども所謂すねの傷はかえってすくない方ではなからうかと、それをせめてものめ慰にしている。

(神戸大学教授)



三宮ライオンズ誕生のこと

坂元三一

最近世界大会がひらかれたロータリークラブの姉妹クラブにライオンズクラブがある。

やはり国際的なクラブであり、日本にライオンズクラブが普及されて既に九年経っている。

神戸も東、西クラブのほかに今度新しく三宮ライオンズクラブが誕生し、そのチャーターナイトと呼ばれる認証式に、全国のライオンズクラブから会員が祝福のために、神戸に集まって来る。

その、三宮ライオンズクラブのお世話をなさっている坂元三一氏に、神戸っ子として、話を伺いました。

新しい流行は神戸から

坂元三一氏は神戸で唯一の産科、婦人科専門の病院の院長さんである。

その上、お父さんの坂元重勝氏も、義兄の坂元宇之助氏もそれぞれ産科のお医者さんとあって、坂元氏の手によって孤々の声をあげた神戸っ子は数え切れないといわれるから恐れ入る。

病院もしょうしやで清潔、何となく神戸っ子誕生にふ

さわしい明るい感じの病院である。

学生時代から、スポーツは万能選手だし、音楽ファンなんで、当時上野の音楽学校の先生をしていらした安藤公子女士についてバイオリンを習ったこともあるし、サキソホン、ギター、ベースぐらいはこなせます。

軽音楽でリズムカルな、ムードミュージックが好きなんだ。社交ダンスも流行って私も随分やりました。

昔は何んでも流行は神戸からといってたんで、元ブラ宝塚歌劇などは大いに人気があった。宝塚までの郊外電車も、あづき色のスチール・カーと、もうあこがれのまどでしたね。

宝塚に定期券で月、三十六回観に行くという強者もいたほどなんだから面白いでしょう。他愛ないものですね神戸の洋菓子も有名で、東京から買いに来てたほど、特にユーハイムの菓자에人気がありましたよ。

神戸の市電といえは自慢のたね、ロマンス・カーも神戸で初めて生れたものでしょう。私の記憶にも往年の港の活況のようすが残っていますね

文化都市としての神戸

神戸は何んといっても文化都市としての整理がつかないと思います。文化面での発展をなんとかして計って行くことが大切ではないかと思えます。

大都市に公会堂がないというのも淋しい限りです。

文化の殿堂としての立派な公会堂が是非ほしい、

美術館なども東京、京都、大阪などに比較して、あまりにも貧弱過ぎると思えますね。やはり文化都市として文化の発表設備が充実してこなくてはいけないと思えますよ。

もちろん、高速鉄道、自動車道路などの完成も急いでほしいし、普通の道路もせめて他都市なみに良くしたいと思えます。世界の港として特色のある神戸の大発展を期待したいですね

ようこそ!!ライオンズ

この三宮ライオンズクラブが誕生しました。国際ライオンズクラブというのは Melvin Toms 氏が設立第一次世界大戦後、社会秩序の安定をねがって生れたもので日本では一九五二年、東京に創立され、神戸は日本で三番目にできました。神戸ライオンズは八周年を迎えています。東神戸ライオンズ、西神戸ライオンズとあって、先年十二月八日、東神戸ライオンズから三宮ライオンズが生れた訳なんです。この七月九日にチャーターナイトと呼ばれる認証式があって、初めて国際ライオンズクラブの一員となる訳なんです。そして、日本全国の会員が祝福にやって来て下さることになり、三宮ライオンズクラブにとって仲間入りの嬉しい日になります。

ライオンズクラブは各国間の親善、社会奉仕、そして

全世界の平和を願って、「寛容の精神を培うこと」を最大の目的としています。全世界で一一一国家、クラブ数は一五、四一四、会員数六二二、九七三名といわれています。年一回世界年次大会もあり今年はアメリカのアトランティック市で行われます。

全日本ライオンズとしては「原爆罹災者の救済」

「筑豊地域の救済」に奉仕しているし、国際的なものとして熊本の宮崎博士を印度に送り、救済事業を推進させた兵庫ライオンズとしてはカルフォルニアと結んで、日米夏期交換学生を実施している。

このほか七月からは新目標を「青少年のために」というところに定め、各クラブが前進して行こうということになっていきます

(文責 小泉康夫)

(写真は三宮ライオンズクラブ幹事坂元三二氏

坂元産科婦人科病院々長医学博士)



レジャー ― 緑蔭談

白川 渥

現代はレジャー時代といわれているが、レジャーはなにも今始まったことではない。昔からあった。鎌倉の頃から徳川時代へかけて、殿様や家来衆は、戦争ばかりしていたわけではなく、大いにレジャーを楽しんでいたことは歴史の教えるところだ。

ところが、武士からいつもしめられていた農民や町入は武士階級ほど大びらにレジャー生活を送ることができない。

「人間扱い」にされなかった彼らは、生活を楽しもうにも隠れて遠慮がちにやらねばならなかったわけだ。

ことに農民は、レジャーどころか、朝から晩まで牛馬同様に宮々としてはたらいてきた。こんにちでも有馬の奥の農村へゆくと、生まれてこのかた神戸へ出てきたこともないという農家の主婦に出会うことがある。

二宮尊徳を守銭奴だ、とまでいった人があるが、はたらくこと自体は決して悪いことではない。

人間のぎりぎりの悲願はやはり楽しい人生を送ることにあると思う。だから、レジャーを大びらに享受できなかった農民や町人にも、彼らなりのレジャー生活があったことは事実だ。それはしばしば宗教とつながっている盆踊りや、××詣りの旅行なども、一つは人生をエンジョイする隠れ蓑だった。

俗に「ウダツが上がりぬ」というコトワザがあるが、ウダツ（税）という言葉は、もともと中世以後の建築用語で、うつばりの上に立てて棟木を支える柱のことだ。だから税のように頭を押えられて立身できぬことをそういうわけだ。

ところが「宇達」という漢字によるともう一つの意味がある。こんにちでも農家の中に、ワラ葺き屋根の上に屋上屋の格好でさらに小さなカワラ屋根を作った空気抜き（ベンチレーター）のようなものを見かけることがあるが、あの宇達の屋根のカワラが、じつは昔の百姓たちの「たのしみたい」という悲願の表現なのだ。

武家以外の家にカワラを使ってはならぬと禁じられた

陸ぶさあかと
ソ陽を映えて
人は仕合せ哉
信じる
海

農民たちの抵抗なのだ。

宇達なら屋根ではなく「排氣」という名目で、そこだけカワラにレジスタンスを試みたわけだが彼らの悲しいレジャー、王侯貴族の生活は結構つくめだを従がえた殿様の生活は、現代のこんちでもアラビア辺りのの楽しみは、庶民のパチンコのオシャカさまは王官を捨てて遊として快楽の果てであるアン地を知ったからこそ解脱でき、仏教に「遊戯（ゆうげ）三昧、粋な遊びの世界は道に通じる。

が、いまは悪い意味に使われている。レジャーも万人共通の時代になったが、たのしみかたの低俗な点が問題だろう。観光ばかりだが、外に出歩かないと思われている人が多いのは見当違いだ。混雑した汽車に乗って満員札止めの観光地の旅館へ行かないでもたのしみは自分の家の周囲にも無数にころがっている。私の隣家にプロ野球の南海チームのスタンカ投手が住んでるが、水色の五月の宵は家族そろって庭でたのしく夕食をとっている。あん質素なレジャー気分もいいアと感心させられる。

また都会人は、こんごいよいよ土の生活を忘れてゆくだろうが、困ったことだ。

人間は自然を離れてはいけない、私の昔の詩に「アスファルトの中にアリは棲まない」云々というのがあるが、また全体として西欧人に比べて貧しい生活しかできぬ日本人には、自然の中のレジャー利用法がいくらかもある筈だ。さいきん兵庫県では「花を植えよう」という運動を展開しているが、終戦直後、市の視学をしていた時、『焦土を花野にしよう』と、私も全市の学校に呼びかけたことがある。

(作家)



きものさろん
服飾細貨
西店 東店



コピーが
手もとにもどる

新鋭複写機

コピーが自動的に
手もとにもどる
新しいシステムで
場所を取らず
座ったままで
操作が容易です。



正価 ¥ 一七五、〇〇〇

日立 複写機
コピーマスター

合同タイプ

御希望の方に
カタログ進呈

神戸市生田区三宮町3丁目8 TEL. 31238・4121
(神戸大丸上るトア・ロードセンター街西入口西側)



法然上人と私

佐藤春夫

あの「サンマの歌」で有名な詩人、佐藤春夫は、文豪谷崎潤一郎と交遊も深く、神戸に来た事もたびたび、代表作「田園の憂鬱」は神戸からヒントを得て書いたのではないかと思っている人がある程だ。

佐藤氏の話によれば、「田園の憂鬱」は神戸には関係はないそうだが、谷崎が住んでいた岡本にはきていたという。

「稲垣足穂氏が明石にいた頃、一度だけ彼の明石の家を訪れたことがある。ちょうど代表作「星を売る店」を書いていたころだ。稲垣君の特異な才能は十分に認めるが彼の生活の仕方が悪いために十分酬いられていないのは惜しいと思う」と言葉少なく語っていた。

また、佐藤春夫は法念に深く心酔し浄土宗に帰依している。

「哲人ニーチェが説く、人間は馬鹿である、何という浅ましい智慧なんだ」ということを深く考えてほしい、文学では「いかに生くべきか」ということがたえず、

主題になっているが、私はこの答えが法念上人が説く宗教と一致していると思う。

私たち人間の智慧は、あまりにも貧しいことに気付かなければならないと思う。

ニーチェが説くところと同じで、聖者の智慧の偉大さにくらべるとあまりにも、浅ましいものだと感じる。

ウィリアム・ジエイムスは「いかに信すべきか」といっている。

人間は安心して生きたいという願いをいつもいだいているようだが、その最上の方法は、「信すること」だと思ふ。何も信じることが出来ないということはなんと悲しく、不安なことだ。信じることが出来ない疑いを多く

もつ人は不幸な人だといいたいだろう。

法念上人は晩年に、仏教は自由に信じさえすればいいのだといっている。とにかく不自然さから解放された、

上人の魂の偉大さに、私も深く魂をゆり動かされたのだ

上人は「阿弥陀の無限の慈悲をすなおに信じ、念仏を唱えることによつて、浄土に導かれる」と説いている。

これこそ、もっとも宗教的な、宗教の本質にかんがった教えであると感じない訳にいかない。

理屈では駄目なので、人間貧富貴賤を問わず楽しく生

くべきものであり、正しいことであると感じたことは、また、すなおに信ずることである。

学問は大切なことだ。私は思うのだが学問というものは学問のために学問をする程、馬鹿げたことはないと思ふ。何といつても自分で考え感じることが先決だ。その

自分の考えなり、感じを確認することが学問であり、読書の道ではないかと思ふ。

私も、法然を感じ、考え、法然の著はしたものを読み私の考え方が間違っていないということを教えられたものなんだ。

最近の読書なり、学問のあり方には、この点が忘れられ勝ちになっているのではないかと思ふ。

(詩人)

雨の日の

オシヤし

福 富 芳 美



晴れた日よりも、雨の方が好きだっておっしゃる人はほとんどないでしょう。

すべてが灰色に包まれたような「雨の日」は、じめじめして、気分がすぐれません。

こんな日は、どんなにオシャレな人も「汚れては大へん」といった気持が強く、「美しく装う」気持を忘れやすいものです。「雨にぬれても構わない服装で」といったいく分、投げやりの気持が手伝ってか、

新鮮さのないものを着たり、また普段着の上にレインコートを着る―ことが唯一の「雨の日のオシャレ」のように思ってしまう人が多いようです。

つまり、雨の日に感じる気分的なものが、「美しく装う」気持を邪魔してきているようです。

× × × ×

「雨の日のオシャレ」のポイント
は、色彩の選び方にあります。周囲が灰色に見える日は、陰気な色に対抗する明かるい色で、ゆううつな気分を引きだたせましょう。

まずグレーをバックに考えた「明かるく美しい色」を選んで着ることです。

それも原色的な美しさのものより、中間色的な美しさを選べばいっそう素適です。たとえば、黄色なら少し赤味がかったものというようにいろいろな色が美しくまざり合ったような明るさの色ほど、雨の時には見た目に美しく感じます。

お隣り同士とはいえ、パリとイタリーでは「美しい」と感じる色は違います。

それは基調となる色が、パリは「グレー」、イタリーは「明かるい太陽の光り」と正反対だからです。

このようにパリの「雨の日」とイタリーの「お天気

の日」>では、美しく感じる「色」がまったく違うのは当然なのです。

x x x x

レインコート、傘、雨グッツ……と雨の日>の服装は、だれもが殆ど既成品で間に合わせてしまうといつてよいでしょう。だから「雨の日」は、みんなの「装い」が同じような感じになりがちです。

電車の中で隣り合って坐った人、また前の人が、自分と同じ型、色のレインコートを着てゐることは、あまりよい感じではありません。

でも、それもちょっととした組み合わせの工夫で、個性的なオシャレが楽しめます。

かわいい花模様などのビニール製のスカーフをかぶり同じ模様の袋を持つのもいいでしょう。

また、首にスカーフを巻いたり、ベルトに変化をつけられるのも一つの方法でしょう。

このほか、エリもとや、ちらちら見えるスツから「美しい色」をのぞかせる「などちょっとした工夫で美しく、美しく装えるものです。

レインコートの手入れは忘れず、いつもアイロンのきいた「清潔」な感じをなくさないように心がけましょう。アクセサリーはブローチ、首飾りなど「つけるもの」はなるべく避け、むしろ傘、バックなどの「持ちもの」をアクセサリーとして考えられるのがいいでしょう。

ビニール製の傘を、赤、青、黄……と二、三本そろえておき、その日、その時の感じで持ちかえるのも、また気分がかわって楽しいものです。

バックもいま流行のビニール製の袋を、コートや傘の色に合わせて持てば「美しいアクセサリー」としても結構役立ちます。

このようにちょっとした工夫で「雨の日のオシャレ」が楽しく、美しく装えます。また、個性に合った組み合わせの工夫にこそオシャレの楽しさと意義があると思います。(神戸ドレスメイカー女学院院长) 談

7m3



ネクタイの

元町バザー

神戸 × 元町

田崎真珠店

神戸三宮新聞会館内
TEL (2) 5646

